

赤坂地区

売買状況

(土地・建物)

世界的な保護主義的貿易政策の台頭で、貿易依存度の高い韓国経済が大きな打撃を受けた影響もあるのか、赤坂の韓国系企業が不動産を売却等しているのが見受けられた。

一ツ木通り沿いにある旧ドン・キホーテビルも、引続き売却情報が出ているも、売出し価格や建物構造等で折り合いが付かないのか、依然売却活動が行われている様である。

賃貸状況

賃貸状況としては、昨年から空室が少ない状況が続いていた中、年末・年始前後で解約案件や造作譲渡希望案件等により、新規での物件供給が多少見受けられた。

飲食店に関しては、圧倒的に小型の路面店需要が高く、続いては、直通階段が設置してある等の客導線が確保されている地下1階・2階の低層階物件となっている。

平成～令和元年にかけては空室が少なかった為、造作譲渡による取引が散見され、その時の良い条件での取引を聞いた既存テナントが、年末年始前後で造作譲渡の希望を申し入れてくるも、希望売却価格が高く、なかなか折合いが付きにくい状況である。

バー・クラブ系に関しては、全体的に動きが鈍く、特に30坪を超えてくる大型物件は特に厳しい状況であった。

全体的に出店意欲はそれなりにあるものの、堅実且つ、慎重であり、賃料や立地、階数、内装の有無や状態等、希望の条件に見合う物件が出てくるまで、焦らずじっくりと探す傾向が見受けられた。

街の状況

令和元年10月22日に天皇陛下の即位の礼が行われ、11月10日に祝賀御列の儀パレードが赤坂の青山通りを通過した。

パレード後は観覧後の見物客が押し寄せ、赤坂の飲食店では行列が出来る店が出る程の大変な賑わいを見せた。

また、オリンピックイヤーの本年は聖火リレーのコースの一部となっている為、これからオリンピックに向けての赤坂エリア全体の盛り上がり期待したい。